

生物工学若手研究者の集い 第二回オンラインセミナー顛末記

(生物工学若手研究者の集い 第二回オンラインセミナー 実行委員長) 堀之内貴明

2020年度の生物工学若手研究者の集い(若手会)夏のセミナーは2020年8月22日に、Web会議システムであるZoomによるオンライン方式で開催されました。本セミナーを開催することとなった背景として、昨今の新型コロナウイルス感染症の流行があります。感染拡大防止の観点から、2020年7月に石川県で開催予定であった若手夏のセミナーは1年延期することとなりました。また年次大会も開催中止となり、一部の企画シンポジウムは生物工学Webシンポジウム2020としてオンラインでの開催となりました。このような状況下で、学生や若手研究者にとっての研究成果の公表の場や人的交流の場を提供することを目的としたセミナーを開催することとなりました。若手会ならびに有志メンバーが実行委員^{注1)}となり、チャットツールSlackを用いてワークスペース「生物工学若手オンラインの集い: sbj-wakate-online. Slack.com」を立ち上げ、オンラインでのセミナーや懇親会の開催方法の検討を進めました。試験運用として7月18日に小規模のオンラインセミナー^{注2)}を開催し、その後本セミナーの開催に至りました。129名(アカデミア46名、学生72名、企業10名)の参加登録を頂き、たいへん盛況となりました。

セミナーにはZoomを使用し、メイン会場ならびに3つのセッション用小会場の合計4会場にて行われました。

最初にメイン会場にて実行委員長の堀之内により開会

挨拶を行い、その後3つの会場に分かれ、合計26件の一般講演が行われました。参加者はさながら年次大会の一般講演のように各会場を任意に移動することができ、好きな講演を聴講することができました。また、質疑応答のために参加者は事前にSlackのワークスペース「生物工学若手オンラインセミナー2020」に参加し、質疑応答用チャンネルに質問を書き込むという形式を採りました(図1)。これにより講演中も質問を書き込むことが可能となり、現実世界での質疑応答よりも活発な討議が行われたようでした。時間切れによって回答されなかった質問も、スレッド機能を用いて後ほど講演者がSlack上で回答がなされました。また、Zoomのチャットには参加者のコメントや感想が常時投稿され、聴衆の様子がわかりにくいというオンライン発表の欠点が緩和されていたように思います。

また、参加者による投票を行い、各セッションから合計9件の発表者が優秀発表賞を授賞しました。表彰式は馬場保徳先生(石川県立大)の司会により進行し、若手会会長の中島一紀先生(北海道大)により賞状の授与が行われました。共有画面上に賞状のPDFファイルを表示して表彰式らしさを演出しました(図2)。なお、実物の賞状は後日受賞者へ郵送されました。受賞者は磯崎勇志さん(三重大)、伊藤健太郎さん(東北大)、内倉寛斗さん(金沢大)、木村和恵さん(名古屋大)、高野力さん

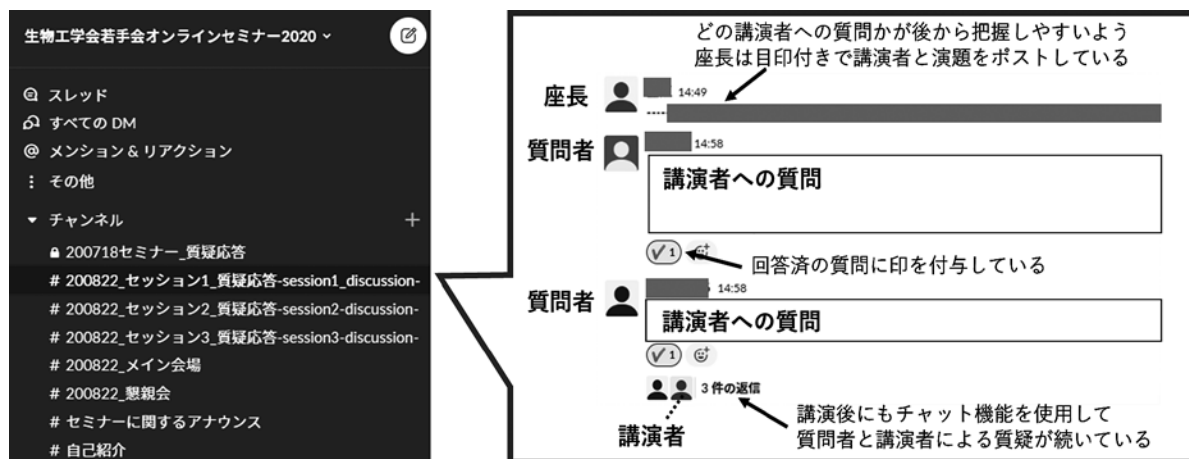


図1. チャットツールSlackを用いた一般講演の質疑応答



図2. Web会議ツールZoomを利用した優秀発表賞の表彰状の授与の様子

(筑波大), 中村文彦さん, (秋田大), 藤本瑛代さん(名古屋大), 山内悠至さん(京都大), 横田早希さん(秋田大)です。おめでとうございます。

最後に若手会会長の中島一紀先生(北海道大)により閉会挨拶が行われ, 集合写真(図3※希望者のみ)を撮影してセミナーは閉幕となりました。

引き続きメイン会場にて懇親会が行われました。まずは青木航先生(京都大)による挨拶, ならびに生物工学会会長の高木昌宏先生(北陸先端大)により乾杯が行われました。懇親会には40名程度のさまざまな年代や所属の参加者がありました。今回の懇親会ではZoomのブレイクアウトルーム機能を利用して参加者をランダムに小部屋に分け, 参加者間の交流を深めてもらうことを試みました。このブレイクアウトルーム機能を利用した交流イベントは手軽に試することができるため, さまざまな研究集会などですでに利用されているようですが, 「初対面の人が相手で話題に困り話が続かなかった」「部屋の人数や所要時間が適切でなかった」などの意見が多く出ていたことが分かりました。そこで今回の懇親会では, 初回は各部屋に最低1人ずつ実行委員がファシリテーターとして参加し, さらに毎回共通のお題を設定することで, 初対面の方どうしの交流をサポートしました。また司会の兒島孝明先生(名古屋大)により, リアルタイムアンケートツールMentimeterを取り入れてインタラ



図3. Web会議ツールZoomを利用した参加者の集合写真

クティブな運営を行いました。これはブレイクアウトルームの終了後にリアルタイムアンケートを行い, 次のブレイクアウトルームの人数や所要時間を参加者の投票によって決定するというものでした。その結果, 最初は1部屋8名程度でしたが, 回が進むごとに徐々に人数が減る傾向がみられ, 交流がより深いものに変化していく様が反映されているようでした。このように, 普段は接点のない分野, 世代を超える交流という, 夏のセミナーおよび懇親会の目的を, オンライン開催であってもある程度補間することができたように感じました。

末筆となりますが, 本セミナーをご支援いただきました日本生物工学会(本部, 事務局)に厚く御礼申し上げます。サポートくださいました若手会役員の先生方に心より感謝申し上げます。そして, 全国よりお集まりいただきました参加者の皆様, 誠にありがとうございました。本セミナーをきっかけに, 皆様の交流の輪がさらに広がり, 来年こそは夏のセミナーにて実際にお会いできることを祈念しております。

オンラインセミナーの様子は若手会ホームページ^{注3)}でも公開しておりますので, 是非ご覧ください。

注

- 1) 実行委員一覧(五十音順): 青木 航(京大), 油屋駿介(九大), 石川聖人(名大), 岡 大椰(名大), 岡橋伸幸(阪大), 蟹江 慧(名大), 兒島孝明(名大), 杉山亜矢斗(名大), 曾宮正晴(阪大), 中島一紀(北大), 馬場保徳(石川県立大), 堀之内貴明(理研), 三浦夏子(阪府大)
- 2) 日本生物工学会, 【開催報告】生物工学若手研究者の集い 第一回オンラインセミナー～WEBでの研究発表の重要性を考える～: https://www.sbj.or.jp/news/young_online_seminar_20200718_report.html (2020/9/30).
- 3) 日本生物工学会, 生物工学若手研究者の集い(生物工学若手会): <https://www.sbj.or.jp/division/young.html> (2020/9/30).